



かのん



愛媛交響楽団広報誌 第24号
2000年 12月発行
ヴィオラ編集

題字及びカット 山下紫織ちゃん(7歳) 奏絵ちゃん(6歳)

♪田中先生インタビュー♪

今回の指揮をしていただく、田中良和先生にお話をうかがうことができました。

Q1. 愛響には約3年ぶりですが、久しぶりの愛響の印象についてどのようにお感じですか？

メンバーが増えましたね。特に若い人が増えた。人が増えることはいいことです。「タイタン」については以前、愛響で渡邊先生の指揮で初めてやった時、できないと言って大騒ぎになったそうですね。渡邊先生はできる所だけでいいから弾いてくださいと言われたそうですが・・・その時に比べると、人数という面では状況はずいぶんよくなっているんじゃないですか？前回、愛響を指揮したときとの比較よりも、その回で、本番に向かって練習からどう変わってかが問題です。最初から最後(演奏会)への変化が楽しみです。

Q2. 今回のメインはマーラーですが、この曲にまつわる思い出、また先生のこの曲への「思い」をお聞かせください。

背景や人間性が面白いと思います。ユダヤ人であるというコンプレックス、譜面の細かい指示は、そのコンプレックスの裏返しではないでしょうか。ここまで書かないとやってもらえないというような。日本人にはわかりにくい所ですが・・・。

マーラーが難解であるという点については、難しいという前にとにかく聴いていただくことが大切です。聴けばたいいて、いい曲だなということになりますから。

Q3. 今回のソリスト若林顕さんについて教えてください。

何だかんだ言うより実際に聴いてもらうのが一番です。誰と共演したいか、と聞かれて真っ先に名前が挙がる一人。今まで共演した曲は、ベートーベンの皇帝、チャイコのピアノ協奏曲、モーツァルトの戴冠式など・・・。

Q4. 今後の愛響に苦言、提言をお願いします！
オケは楽しくなくちゃいけない！！練習のときも言ったけど、練習が終わって肩がこるなんて事がないようにしなきゃ。

「指揮者という先生に教わる」というスタイルについても、今の時代、音楽が楽しくなくなっていると思います。音楽はフレキシビリティがありますから、みんなで楽しむことが大事だと思います。

話しは少し変わるかもしれませんが、バッハ、ベートーベン、ブラームスというのは、100年位ずつ離れていて、本当は独自の3種類のスタイルがあるはずなのに、ドイツということだけでひとのみにして3大Bということで一緒にスタイルにしてしまい、それをえらいマエストロがきて、これはこういうもんだとやっちゃ。こういう所は変えていかなきゃと思っています。

そのためには、練習中にも言いましたが、ベートーベンはモーツァルトの音楽を知っていたが、モーツァルトはベートーベンの音楽を知らなかったというような何でもない事実を見直していく、ということが必要なのです。

Q5. お忙しい先生、そのパワーの源はなんでしょか？

子育て・・・子どもですね。
1年生と幼稚園年中の2人いますが、何事に対しても先入観がなく、発想がとても新鮮です。

また、パワーというわけではありませんが、自分の周りにストレスがないようにしています。だから子ども達には、何になってほしい、英才教育をしたいとか今から音楽で生きてほしい(音楽家にならせよう)とかはまったく考えていません。

先生、お忙しい中お話し頂き、ありがとうございました。



決して愛響の事ではありません・・・

意外とどのオケでも共通の悩みを抱えて苦労しているのでしょうか？くわばらくわばら・・・

指揮者の石丸寛さんが全国のアマオケと演奏会をした経験の中で感じた「パートの欠点らしきもの」とは？！興味深い内容なので皆様にご紹介したいと思えます。音楽現代1982年6月号より・・・

vn1 かなり弾ける人が中心だが協調性に欠ける。勝手な表現をして、アンサンブルを知らない。

vn2 吹き溜まりのように弾けない人が追いやられている。中心人物も諦めて指導しようとしれない。

vla 人数が不足で苦労している。その分だけ熱心な人が支えている。(マニアック!?)

cell パートとしての欠点は特に見当たらないが、なかなか鳴ってくれない。

bass 良くて3,4人町によっては一人とか居ない所もある。楽器の整備が困難で最も不十分なパート。

fl まず弱音の吹ける人がいない。絶えず大きな固い音でバランスを壊している。

ob どちらかというばカンタービレが得意で、少しでも速いパッセージがくるとポロポロになる。

cl アマオケでは最も安心して聴けるパート。女子高生などが真剣に取り組んでいるのを良く見かける。

fg オケづくりに熱心な人が多いが、技術的には表現

の足を引っ張っている人が多い。無理からぬことで地方では指導者がごく稀なのだ。

Hn 四人がひと塊になって成立する楽器だという認識が足りない。四人一緒に勉強しようとしれない。

tp 時折華々しいソロを聞かせる人がいるが、概して集団づくりには熱心でない人が多い。理念の欠如か？

tb 大学や高校生を中心に、控えめだが真剣に取り組んでいる人の多いパートである。ブラバンで身につけた音は、どちらかというところ荒く、柔らかいデリケートな音の体験が不足している。

tuba どの町のオケに行ってもチューバは居ませんと言う。高校のブラバンにはちゃんという。この辺の考え方がオケの発展を妨げているらしい。

tim 一応良くやっているが注意を与えてゆくにしたがってだんだん萎縮してしまうのをよく見かける。普段はあまり厳しくいじめられていないからである。調音の悪いのも指揮者ともどもに改善すべきだ。

その他のperc どういう訳か演奏会の数日前になっていかにも集められたという参加をし、せっかく鍛えめかれたオケのアンサンブルを一夜にしてぶち壊す。運営側の問題である。

新入団員紹介

新しい団員さんがまたまた増えましたっ！
どの顔がどの人か・・・どの人がどの顔か？見つけ
ましょうっ！

小川 里絵さん (F1)

愛媛交響楽団のみなさん、はじめまして！フルー
トの小川里絵です。私は今年の4月から愛媛大学教
育学部芸術文化課程の音楽文化コースに通っている
大学1回生です。出身は広島県広島市の祇園という
所です。愛媛(松山)は受験の時初めて来ました。
フルートは今年で8年目になります。愛媛も、交響
楽団も分からない事だらけで知り合いもいなくて心
細いですが、どうぞよろしくお願いします！がんば
ります！

渡辺 英臣さん (vn)

9月の練習から参加させてもらってます。最初の
うちは本当についていけないかなとか、今治から毎週
通ってて続くのかなとか、いろいろ不安材料があり
ましたが、今はなんとか練習にもついて行っていると
思うし、松山に通うのも、一週間のリズムになって
います。そして欠く事のできない行事のひとつにな
りました。楽器を触り始めて今年で10年になる年に
愛響に入団できたことをうれしく思っています。ま
だまだごまかごまかしの所がありますが、もっと
腕をみがいて楽しく活動できたらと思います。よろ
しくお願いします。

野本 啓吾さん (Tp)

新居浜工業高校から松山工業高校に転動して一年
半、やっと公私ともに落ち着き、愛響に入団するこ
とができました。いつもは電子科の生徒たちと勉強
したり、いろいろな物づくりをしたり、時には格闘
をしたりしながら、忙しい毎日を送っています。今
は、特に夏のソーラーラジコンコンテストに向け、
その製作に力を注いでいます。さすがにストレスが
たまる事も多く、キレないように息抜きをしなけれ
ばなりません。愛響とパチンコ店がその絶好の場所
になっているのです。この二つを並べると愛響に失
礼ですが、データを収集してパチンコを攻略するの
も大変おもしろいのです。とにかくまじめにやりま
すので、よろしくお願いします。

宇都宮千鶴さん (Va)

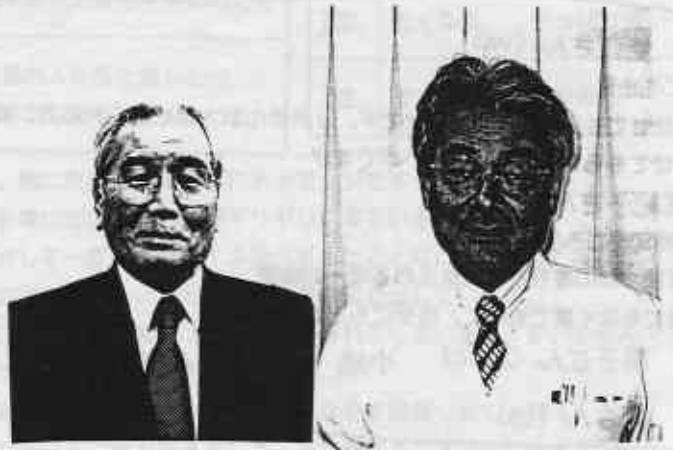
宇和生まれの宇和育ち。大学時代、弦楽合奏団で
ヴィオラを弾いていました。今年の6月から、何年
かぶりに、やさしく楽しい方達と一緒に再び弾くこ
とができ、愛響の練習は週一回の楽しみとなっています。
趣味は、旅行とドイツ語と書道です。年末には
ベルリンでドイツ語研修をする予定です。今から
わくわく♪しています。見た目通りおとなしく控え
めな私ですがたくさんの方と知り合いになりたいと
思っています。

中村 聡志さん (Va)

①出身地：東京 ②年齢：37歳 ③楽器経験：高
校から(いきなりオペラ全曲を演奏させられた)
④好きな作曲家：今はなぜか「三文オペラ」のワイ
ル(ご存じですか?) ⑤音楽外の関心：芝居、絵
画、ミステリー ⑥やってみたいこと：オケピット
に入りたい・・・これでは何か芝居掛かったオタク
ですが、実態はもっと平凡なオヤジです。今後の愛
響での音楽生活をとても楽しみにしています。

この顔にピン！ ときたら一人前っ!?

見かけた方はヴィオラパートまで・・・



我がパートには、すてきなグランパが二人います！
ご紹介しましょう！今回は私たちの質問にコメント
頂きました。

質問1：愛響の演奏を観客として聞いた時のご感想
を・・・

井部：1. 全体にとってもレベルが上がってきている。
安心して聞ける。

1. 管楽器はバランスに注意

1. 指揮者によって全く異なる演奏をする

1. まだまだ上達する。頑張ってください。

上田：どんな音がしているか聞いてみたいでしょ。客
席で聞く愛響の演奏も結構上手なんですよ。一生懸命
な演奏態度が伝わってきます。それでもどこかでとち
るんではないかとのんびり聞いていられない面もある
んですよ。定期のマーラーの「巨人」。どんな演奏を
聞かせてくれるか楽しみです。

質問2：お仕事が忙しくても、本番に出られなくても
辞められない愛響の魅力を教えてください。

井部：河野団長がやって居られる間は辞めないと思
っています。

上田：一週間の仕事を終え、土曜日の夜を我が家での
んびりと過ごすのはなんとも言えない気分ですね。止
められそうにもありません。復帰がだんだん難しくな
りそう。それと五十肩(もうすぐ六十肩)と肘関節痛
で、もともと十六分音符を弾けなかった指がさらに動
かなくなってしまう。それでも医師会の役員を
止めたら時間と精神的な余裕が少しできるかも知れま
せん。その時は邪魔しに行くかも。

質問3：愛響に何か一言お願いします。

井部：創立以来の団員なので今までに経験したいろ
んな事を知っています。音楽的なことはもちろん大切で
すが、今団員が増えている大変喜ばしい状態ですから
これから運営面でのこと大切にしてください。

上田：3年もてば良いと言われてスタートした愛響と
聞いていましたが、30年よく続いたと思います(まるで
我が家みたい)。河野団長の情熱と統率力の賜物と思
います。「継続は力」です。年数はそれなりに重み
を加えていきます。マンネリに陥らないよう、常に新
鮮さを保ち続ける事が大切ではないでしょうか。

ありがとうございました。グランパ達が居てくださ
るから安心してのびのびやっていますっ！是非、一緒に
ステージにあがりましょうね♡

遠距離線

「によいッ」と広い愛媛県。県内各地から毎週集まって来ています。みなちょっとのぞいてみました。また、アンサンブルに来ていた気持ちなどを聞いてみました。

沖永 吏江さん (vn)

5時ごろ出発 JR利用

弾かせてもらえるだけで幸せです。JR松山駅方面に帰られる方、練習後駅まで乗せてもらえたらありがたいのですが・・・

三好真紀子さん (ob)

17時50分ごろ出発

育児づけの毎日から解放される唯一の時間。

母でもなく妻でもなく、自分にもどれる。

今井 朋子さん (perc) 小池 亜希子さん (fl)

木林 真さん (tp)

松前町

和田 光教さん (tp)

出発時間定まらず。

習慣です。

田中 富美さん (vn)

17時20分ごろ出発

やっぱり一人では味わえない楽しみや喜びがそこにあると思うからかな

山崎 恭子さん (Cl)

長田 いづみさん (perc)

定松 千代さん

渡辺さおりさん

17時30分ごろ出発

みんなと一緒に

個人では味わ

伊賀上 恵さん (ob)

酒井 奈美さん (Hn)

16時30分ごろ出発

楽器を吹くこと、みんなで演奏ができる楽しみがあるから！！

大洲市

和田 佳子さん (perc)

17時前後出発

そりゃ、やっぱり、愛響に魅力があるからでしょう

井上 文博さん (tp)

広浜 裕香さん (ob)

16時ごろ出発

あらたまって考えてみると、本当にナゼだろうと思います。ソロやアンサンブルも大好きなのですが、やはりオケもやめられません。また、団員の方々や指揮者の先生、プロの演奏家の方々と“出会い”も楽しみの一つであることは間違いありません！

尾方 宏晃さん 美穂子さんご夫妻

(Hn) (perc)

16時30分ごろ出発

長い距離く愛響の楽しさ 楽器、音楽の楽しさ 心身のリフレッシュのため

岡崎加緒理さん (cello)

16時ごろ出発

オーケストラがやりたいっ！！

小西 智さん (trb)

宇都宮千鶴さん (vla)

帰宅は22時40分ごろ、唯一の自己実現だから。

大塚 浩二さん (vn)

14時30分ごろ出発

宇和島にはそうでもして松山に来るくらいでないと、他は魚釣りくらいしかすることがないから。転勤すると、こういう団体にでも入らないと、仕事関係以外の友人が一人もできないことに気がつきましたので、いつも泊めて下さる三保さんありがとうございます。

稲荷 傑さん (fg)

15時ごろ出発・・・16時に出たら遅刻なのさっ！

うーん・・・特に考えたことがないので、改めて聞かれると「？」ですなあ「なんでやる！」

向井 敬治さん (trb)

16時30分ごろ出発

ありきたりですが、好きだから、でしょう

井部 剛さん (vla)

安永 洋介さん (bass)

PM12時

音楽がやはり好きなのかも。



近距離線愛の皆さんっ！午後4時頃には

「今頃出発している人もいるんだな」と思い出してみましようっ！

松山市在住 ヲケママ

ひとつしかないオーケストラ「愛響」に
 さん、どこからいられているのでしょうか？
 ートをして、時間をかけて愛響に
 してきて...

1位	音楽を聞くこと
2位	四季折々の景色を楽しむこと
3位	同乗の人たちと話したり 食べたりすること

1位	渋滞 ~これが一番多かったです。
2位	眠くなる やっぱり遠い
3位	疲れる お金がかかる

また、他に市内の団員さんにメッセージですっ！

- ・練習会場に近い方ほど時間ギリギリに来ているのでは？
 - ・もしかして一度も準備にイス並べをしたことない方、やってみませんか？
 - ・運営の方に感謝！いつも団のお仕事おまかせしています。
 - ・土曜に仕事がある時にはどうしても遅れてしまいます。すいません...
 - ・いいですね...近くて...
 - ・市内も市外も変わらないですよ。みなさま頑張りましょうっ！
- アンケートご協力頂きまして、ありがとうございました！！

(cello)
(vn)

大島 貴浩さん (Hn)
 出発は起きる時間によるとのこと...
 帰宅時間も曲によって違うとのこと...
 ホルンが好きだからです。

大きな曲を弾ける喜びは
ないの

竹内 弘之さん (vn)
 16時20分自宅発で、タクシー、JRを乗り継いで来られています。
 オケの響きが好きだから。そしてすべてを忘れることができるから。
桑原 綾子さん (vla)
 17時ごろ出発
 習慣になったことと、やっぱり楽しいから
山本 敏明さん (cl) **渡辺 英臣さん (vn)**



村井 弘さん (vla)
 16時50分ごろ出発
 息抜き 他のオケだともっと距離があるため

北村 恵美子さん (vn)
 16時40分ごろ出発
 オケが好きっ
青野 竜也さん (bass)
 17時すぎに出発
 身近に楽団がないから

東予市

石原 美佐さん (vn)
 17時30分ごろ出発
 オケが大好きだから
篠永 知耶さん (cl)
 17時30分ごろ出発
 音楽は楽しいから。きれいなメロディーを
きけるとうれいから
森本 泰誠さん (trb)
 17時15分ごろ出発
 単純に楽器を演奏したいからだと思います。
藤田 真弓さん (vn)
 17時30分ごろ出発
 プロの指揮者に直接指導を受けることができ、
 音楽の深さ広さを教えて頂き、
 音楽する喜びを味わうことができる！！
松浦 健さん (cello)

西岡 久子さん (vn)
 16時ごろ出発
 友達に会える 指揮者に会える
長野 剛士さん (Hn)
 勤務先を16時ごろ出発
 やはりホルンを吹くならオケです。
藤原芳郎さん 正子さんご夫妻
 (cello) (vn)
 二人で出る時は、17時15分ごろ 正子さん一人の時は16時40分ごろ出発
 (芳) 2時間半の練習時間の中で、ほんの瞬間何かも忘れ、音楽の中に入れた時の
 充実感を期待して。
 (正) いろいろな人と出会い、皆で曲を作っていく楽しさ。長年の愛響通いでオケは生
 活の一部となり、今は心と身体(頭もかな?)の健康のバロメーターです。

神野 由香さん (bass)
斉藤 勲さん (vn)

木 誠一さん (cello)
 17時30分ごろ出発
 「オケとチェロが大好きだから」これに尽きます。
橋 美帆さん (fg)

編集後記
 自分ではあまり何もしないうちにできあがってしまいました。
 皆様、ご苦労さまでした
 今回は、パートの内側より、外側に目を向けたかのんにした
 つもりです。いかがでしょうか？ 編集長 村井 弘
 ~ふうっいかがでしょうか?! 次のパートにパトタッチっ!